

兵庫県景気基準日付の設定（確定）について

令和5年3月31日

兵庫県企画部統計課

1 兵庫県景気基準日付の設定について

兵庫県では、景気動向指数（兵庫D I）をもとに景気循環の局面判断や各循環における経済活動の比較などのため、主要な経済指標の中心的な転換点である景気基準日付（景気の山・谷）を設定しています。

このたび、令和5年3月10日に開催した兵庫県景気動向懇話会での検討結果に基づき、兵庫県における第16循環の山を平成30年11月に、谷を令和2年5月に設定（確定）しました。

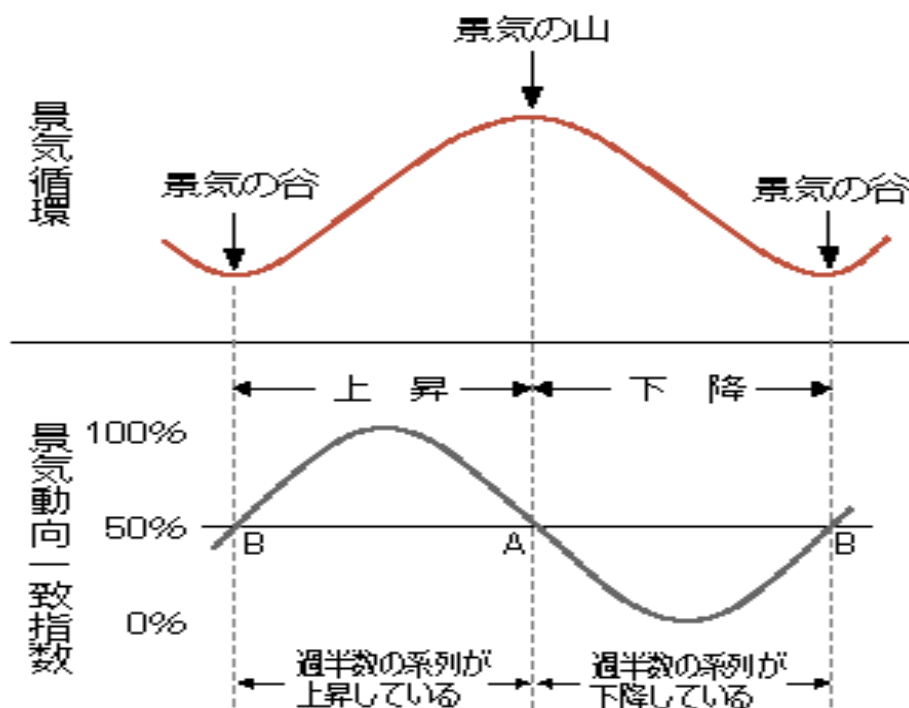
表 兵庫県と全国の景気基準日付

景気循環	兵 庫 県						全 国					
	谷	山	谷	期間			谷	山	谷	期間		
				拡張	後退	全循環				拡張	後退	全循環
第11循環	S61年11月	H 3年 3月	5年10月	52ヶ月	31ヶ月	83ヶ月	S61年11月	H3年 2月	5年10月	51ヶ月	32ヶ月	83ヶ月
第12循環	5年10月	9年 4月	11年 5月	42ヶ月	25ヶ月	67ヶ月	5年10月	9年 5月	11年 1月	43ヶ月	20ヶ月	63ヶ月
第13循環	11年 5月	12年 7月	13年12月	14ヶ月	17ヶ月	31ヶ月	11年 1月	12年11月	14年 1月	22ヶ月	14ヶ月	36ヶ月
第14循環	13年12月	19年 7月	21年 3月	67ヶ月	20ヶ月	87ヶ月	14年 1月	20年 2月	21年 3月	73ヶ月	13ヶ月	86ヶ月
第15循環	21年 3月	23年 2月	25年 2月	23ヶ月	24ヶ月	47ヶ月	21年 3月	24年 4月	24年11月	37ヶ月	7ヶ月	44ヶ月
第16循環	25年 2月	30年11月	R2年 5月	69ヶ月	18ヶ月	87ヶ月	24年11月	30年10月	R2年 5月	71ヶ月	19ヶ月	90ヶ月

2 景気の山・谷の設定の方法と基本的な考え方

景気動向指数／一致指数の各採用系列から、月々の不規則な変動をならし、平滑化したヒストリカルD I（HD I）を作成します。その数値が50%を下回る（過半の系列が下降となる）直前の月を景気の山の候補とし、その数値が50%を上回る（過半の系列が上昇となる）直前の月を景気の谷の候補とします。

図 景気の転換点



これらの候補について、拡大または縮小の動きが多くの経済部門に波及・浸透しているかを確認します。また、景気総合指数（兵庫C I）により、経済活動の拡大もしくは縮小の程度の量的な変化やその期間についても確認します。さらに、他の景気指標（四半期別兵庫県内GDP速報、日銀短観（兵庫県）や兵庫県鉱工業指数など）の動きと大きな乖離がないか、念のため確認します。

これらのことについて、学識経験者や専門家からなる兵庫県景気動向懇話会で検討し、景気基準日付を決定します。

しかし、景気動向指数において採用指標の入れ替えや季節調整替え等が行われた場合や、各個別指標に改訂があった場合、ヒストリカルD I値は変化する可能性があります。

ヒストリカルD I値が安定的になるには、さらに時間を要するため、ひとまず景気基準日付を暫定的に設定し、ある程度の時間を置いて確定させます。